

公共施設再編市民ワークショップ参加者アンケート 集計結果

(平成 26 年 2 月 8 日ご出席の 20 名の方の回答)

① 市民ワークショップへの参加の動機

1 市の広報やホームページなどを見て、以前から公共施設の再編に興味があったから	1 人 (5%)
2 市民ワークショップの案内チラシを見て興味を持ったから	11 人 (55%)
3 その他※	7 人 (35%)

※その他回答：案内がきたから、鎌倉市の行政そのものに興味があったから 等
無回答 1 人

② 市民ワークショップの内容

第 1 回 (2/1)	「公共施設再編の取組状況の報告」 は理解できましたか				【主なコメント】 ・ 財政不足の為には必要である。 ・ 計画性不足だった。 ・ 数字、グラフなどで表現されていて理解しやすかった。 ・ 鎌倉市の現状が少し理解できた。
はい 4	← 3	→ 2	いいえ 1		
13 人 (65%)	7 人 (35%)	0 人	0 人		
第 1 回 (2/1)	「発想転換の公共施設再編」 (南学 氏) は理解できましたか				【主なコメント】 ・ 図書館を、ただ本を貸し借りをする施設ではなく、人とのふれあいであったり、食事の出来る施設に変えるのは面白いと思った。 ・ 写真があって分かりやすかった。鎌倉にも図書館と集会室、カフェの複合施設がほしいと思った。 ・ 他の地域の取組など聞けて大変参考になった。 ・ 考え方が変わった。目からうろこだった。
はい 4	← 3	→ 2	いいえ 1		
15 人 (75%)	5 人 (25%)	0 人	0 人		
第 1 回 (2/1)	ワークショップ（公共サービスの評価）の内容は理解できましたか				【主なコメント】 ・ それぞれの立場によって評価も様々だと感じた。 ・ 時間がなくてじっくり検討ができなかった。 ・ 何がムダなのかを考える機会になった。
はい 4	← 3	→ 2	いいえ 1		
13 人 (65%)	6 人 (30%)	1 人 (5%)	0 人		
第 2 回 (2/8)	ワークショップ（公共施設再編シミュレーション）の内容は理解できましたか				【主なコメント】 ・ すんなりゲームに入れた。 ・ 人口分布や利用率等のデータがなかったので、イメージだけで検討してしまった。 ・ どの地域に何が必要なのかを考える機会になった。 ・ 学校教育にも使えるかも。
はい 4	← 3	→ 2	いいえ 1		
15 人 (75%)	4 人 (20%)	1 人 (5%)	0 人		
全 体	ワークショップに参加して良かったですか				【理由】 ・ 他の班の発表をきくことで、自分では考えもつかなかった意見などがあり参考になった。 ・ いろいろな方の意見が聞けて勉強になった。 ・ 皆さんと意見を交えながら、市の将来について考えられる事が素晴らしい。 ・ これからの公共施設の運営を見守る意識ができた。 ・ 知らなかった事がわかった。
はい 4	← 3	→ 2	いいえ 1		
17 人 (85%)	2 人 (10%)	1 人 (5%)	0 人		

全 体				ワークショップに参加して公共施設 に対する認識は変わりましたか	【変わった点】
はい	←	→	いいえ		
4	3	2	1		
12人 (60%)	5人 (25%)	2人 (10%)	1人 (5%)		・ 当たりまえにずっとあるものと思っていたが、そうではないのだと認識した。 ・ コスト的な無駄を省くという点では変わらないが、「サービスは増やすことすらあれ、減らせない」と思った。 ・ 自分にも降りかかってくる問題なので、まじめに考えなくてはと思った。 ・ 現状を見つめ直すいい機会になった。 ・ 利用しやすくするには、子供と大人が関わりやすくする。 ・ 鎌倉市にある公共施設を知らなかったもので、それがわかった。

③ 再編シミュレーションでわかりづらかった点、やりにくかった点

- ・ 駅近の設備の整理は難しい。
- ・ 今日3人だったので意見がまとまり易かったが、6～7人いたら時間が足りないと思う。
- ・ 各施設の利用状況についてもう少し理解を深めてから参加したかった。
- ・ 市としてどこまで減らして行くのか見通しを知りたかった。
- ・ 再編シミュレーションは各班の議論に基づいて考えたものなので、優劣をつけるものではないと思う。2日間にわたって考えたものに点数をつけられるのは悲しい。参加して考えたということを評価してほしい。
- ・ 市のサービス目標の説明があると良い。ワークショップの結果をどう利用するのか。
- ・ 行政サービス（住民票など）に関するカードがあると良かった。新しい施設の提案ができると幅が広がると思った。
- ・ 少しコンサルの考え方に沿ったシミュレーションに偏っていた感じがした。議論はいろいろな意見が出ておもしろかった。
- ・ 時間が足りない。もう少し問題点を具体的に示してもらえれば良い。
- ・ 「近くなくてよい」が、家に対してか、駅に対してか、それ以外にか、わかりにくかった。
- ・ ゲームはやや複雑。検討の時間が短かった。

④ その他公共施設再編の取組について

【公共施設再編の取組について】

- ・ 民営ショップとの協力を考えよう。
- ・ もっと民間活力を使ったほうが良いと思う。
- ・ 鎌倉行う事、県で行う事、国で行う事を明確にする事で再編が考えやすくなるのでは。
- ・ 「市の施設、サービス」を、民間の施設や団体・人にある程度移す（例：大船駅前の仲通りを高層化せず、現状を快適に変えて、その中に市のしていたサービス等を移す）。
- ・ 売却した土地などに、低額（割安）で泊まれる宿泊施設や皆が集える、例えば温泉など（利用料を取る）を作り、市民が生き生きと楽しく過ごせるという事を大事にすることが重要と考える。
- ・ サービスとは際限のないものとの前提に、優先順位を決めて施設造りをしてほしい。
- ・ チマチマした考え方だけでなく、大英断も必要と考える。
- ・ ムダをはぶき、収益を考えなくてはいけない時に来ていると思う。不必要な箱物が多いように思う。
- ・ 支所機能を核とすれば様々な施設を集約できると思う。
- ・ 人との意見交流の中から色々の取組が出てくると思う。
- ・ 特定の人しか使っていない施設は見直した方がよい。
→ 空地になったら売却。又は主要施設やホールに”ネーミングライツ”を導入したらよい。
（市の財政からみると新たな収入がないと再編自体がムリだと思うので）
→ その際、公募する企業は、公共的なもの（例えば、江ノ電、京急、湘南モノレールなど）がよい。

【ワークショップに関すること】

- ・ これからも続けてほしい。
- ・ 利用状況・収支バランス等のデータが少ないので判断できないサービスが多い。もっとデータを。
- ・ 再編を検討した地域で、レイ・ウェルが除外されていた。入っているともう少し良案となったと思う。
- ・ もう少し広い範囲での討議がしたかった。
- ・ 参加者には事前に配布資料を送付すべき（作業の進み具合がはかどる）。
- ・ TQC の知識が必要であり、この時間の割り振りではまとめるには少々無理でないか。
- ・ 大雪の為、出席者が少ない。事前に連絡すべき。
- ・ 実際にどのように再編計画が市から出てくるのか、楽しみになった。今回の参加者向けの報告会のようなものがあつたらよいと思った。